

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 曙ブレーキ山陽製造株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒710-1201 岡山県総社市久代1966-8	
本票作成	部署名： 製造1部 保全課				
主たる業種	分類コード	3	1	業種名： 輸送用機械器具製造業	
事業の概要	自動車・産業用機械のブレーキ製造 従業員 650名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	吉備第一工場		岡山県総社市久代1966-8	
	②	吉備第二工場		岡山県総社市久代1920-3	
	③	総社工場		岡山県総社市真壁1520	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 22 年度)		目標年度 (平成 27 年度)						
	12,655 t CO ₂		11,288 t CO ₂						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 22 年度) の排出量					
	①	吉備第一工場		6,482 t CO ₂					
	②	吉備第二工場		6,059 t CO ₂					
	③	総社工場		114 t CO ₂					
				t CO ₂					
			t CO ₂						
			t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	原単位指標	各工場の生産数合算値 吉備一工場 BA生産数 吉備二工場 WC生産数	基準年度	目標年度
			1.1864	1.1271
			kg CO ₂ / (個)	kg CO ₂ / (個)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 22 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

生産設備の効率化によるエネルギー使用量の抑制・効率化などにより、省エネ法に基づく1%/年以上の温室効果ガス排出削減に取り組む。

【目標削減率達成のための推進体制】

<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001規格に沿った環境管理体制のもと、環境改善を推進 ・改正省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備 中長期計画へのエネルギー削減活動の盛り込み、毎月の省エネ委員会での活動の推進。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全社	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所関連空調機器更新（ヒートポンプ方式） CO2削減量 84 t/年 ・工場インフラ機器の効率化 コンプレッサー台数制御による効率化 CO2削減量 105 t/年 冷却水ポンプへのインバータ導入による効率化 CO2削減量 39 t/年
吉備一工場 吉備二工場 総社工場	<ul style="list-style-type: none"> ・工場内水銀灯の高効率機器への変更 CO2削減量 110 t/年 ・蛍光灯の高効率機器への変更 CO2削減量 89 t/年 ・総社工場での生産活動の停止 CO2削減量 1,280 t/年

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
吉備一工場	<ul style="list-style-type: none"> ・工場インフラ機器の効率化 ボイラー水予備加熱による効率化（エコノマイザ方式） CO2削減量 21 t/年 乾燥炉バーナー燃料種別変更による効率化 （灯油 ⇒ LPG化） CO2削減量 45 t/年
吉備二工場	工業用水冷却塔更新によるポンプ負荷低減 CO2削減量 12 t/年
全社	<ul style="list-style-type: none"> コンプレッサー更新による効率化（インバータ方式） CO2削減量 45 t/年 電力監視システムの増設

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画の推進により総社工場の操業停止、一部事業の関連会社への移管により事業環境が大きく変わり本計画の基準年度である平成21年度排出量に対して平成22年度以降の排出量が大きく変動するため平成22度を基準とした新たな削減計画に変更します。 ・空調機器使用電力削減の為、クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる。
--